

令和5（2023）年度

埼玉医科大学大学院医学研究科
修士課程

学生募集要項

<一般選抜>

<社会人選抜>

目 次

○埼玉医科大学大学院医学研究科医科学専攻概要	1
○医学研究科学生募集要項	4

埼玉医科大学大学院医学研究科医科学専攻概要

1. 教育目標

埼玉医科大学大学院医学研究科医科学専攻は、医学に係わる様々な分野において、幅広く深い学識の涵養を図るとともに、生命の尊厳に関する高い倫理観を持ち、学際的分野へも対応可能な専門的研究能力ならびに高い専門性が求められる職業等に必要なる卓越した能力を培うことを目標とします。

2. 修業年限・学位

修業年限：2年 学位

(長期履修生制度を希望する場合には、修業年限は2年を超えることができます。)

3. 各分野の人材育成目標

(1) 生体機能科学分野

医療系分野や、医学以外の専門分野の卒業者に、生体機能関連の医科学を教育し、医学・医療関連の多様な分野で活躍できる研究者や専門職業人となる人材を育成します。

(2) 生体医工学分野

医療系や工学系分野の卒業者に、医用工学および生体工学の学習を付加することで、学際的な領域にも対応可能な研究者や高度な専門職者を育成します。

(3) 理学療法学分野

理学療法士の資格を持つ者に、専門科目に関する深い知識と技術を修得させることで、研究的な視野を常に欠かさない高度専門職業人を育成します。

4. 分野、授業科目

共 通 科 目	
医療政策学概論 生命倫理学概論 遺伝カウンセリング学概論 行動科学概論 細胞生物学概論 医療安全管理学概論 病理学概論 生体機能形態学概論 リハビリテーション医療学概論 実験動物学概論 実用実験医学特別講義 統計情報解析特論 疫学方法特論 最新医学特別講義 老年学概論	
分 野	専 門 科 目
生体機能科学分野	ゲノム医学特論 生体・病態医科学特論 生体機能科学特論 栄養学特論 環境衛生科学特論 環境微生物学特論 脳科学特論 分析医科学特論 臨床検査医学特論 生体分子機能医科学演習 生体分子機能医科学特別研究
生体医工学分野	医療安全工学特論 生体機能代行工学特論 生体システム工学特論 生体信号処理特論 生体情報計測特論 人間工学特論 レーザー医工学特論 光応用計測特論 生体医工学演習 生体医工学特別研究
理学療法学分野	理学療法研究方法論 人体機能形態学特論Ⅰ 人体機能形態学特論Ⅱ 徒手理学療法学特論 がん理学療法学特論 予防理学療法学特論 筋骨格理学療法学特論Ⅰ (上肢・脊椎) 筋骨格理学療法学特論Ⅱ (下肢) 神経理学療法学特論Ⅰ (治療計画) 神経理学療法学特論Ⅱ (手技) スポーツ理学療法学特論 スポーツ理学療法学演習 理学療法学演習 理学療法学特別研究

5. 履修の方法

学生は、定められた授業科目から 30 単位以上を履修しなければなりません。

履修登録にあたっては、指導教員と相談の上、授業科目から履修科目を選択し、年度初めの所定期間に「履修届」を提出する必要があります。

6. 大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例

近年、大学院における社会人の再教育への要望が高まっておりますが、本学では社会人に対して、昼夜開講制を導入しています。

昼夜開講制とは夜間（18：10～）や特定の時間（時期）に授業・研究指導の時間を設け、病院に勤務する医療職等の社会人が大学院の授業・研究指導をより受けやすくするための制度です。そのため、夜間や土曜日に履修できるカリキュラムを設定し、単位を修得しやすくするなどの配慮を行います。

この制度を利用する者は、指導教員と相談の上、履修科目等を決定します。

また、本学にはサテライトキャンパスがあります。このキャンパスは JR および東武東上線の川越駅から約 200 m の位置にあり、修学に便利な場所で授業を受けることができます。

7. 授業時間

区分	時限	授業時間	区分	時限	授業時間
一般の 授業時間	1	9：00～10：30	第 14 条特例 による 授業時間	6	18：10～19：40
	2	10：40～12：10		7	19：50～21：20
	3	13：10～14：40			
	4	14：50～16：20			
	5	16：30～18：00			

8. 長期履修生制度

職業を有する等の事情があり、2 年間の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することを希望する場合には、修業年限を 3 年間とする長期履修生を選択することができます。

この制度を利用する者は、指導教員と相談した上、入学手続きの際に「長期履修生志願書」を提出する必要があります。

9. 学位授与

本専攻に 2 年以上在学し、所定の授業科目について 30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査および最終試験に合格することにより修士の学位（下記参照）が授与されます。

医学研究科医科学専攻 生体機能科学分野（修士課程）	修士（医科学）又は修士（臨床検査学）
医学研究科医科学専攻 生体医工学分野（修士課程）	修士（医科学）又は修士（医工学）
医学研究科医科学専攻 理学療法学分野（修士課程）	修士（医科学）又は修士（理学療法学）

なお、優れた研究業績をあげた者については、本専攻に 1 年以上在学していれば早期修了も可能です。

10. 奨学金等

日本学生支援機構奨学金：申請し採択された場合は、奨学金の貸与が受けられます。

11. 学内助成制度

①ティーチングアシスタント（以下「TA」）制度

目 的：TA 制度は、教育的配慮の下に本学大学院生に教育補助業務を行わせ、大学院生への教育のトレーニングの機会を提供するとともに、これに対する手当の支給により、大学院生の処遇改善の一助とすることを目的とする。

職務内容：学部学生に対する実験、実習、演習等の教育的業務

勤務時間：年間 180 時間 1 週 6 時間程度

報 酬：大学非常勤職員と同等金額とする

学 生 募 集 要 項

1. アドミッションポリシー

本専攻ではアドミッションポリシーを基本とし、次のような学生を求めています。

- ① 医学・医療に積極的な関心を持つとともに、ふさわしい倫理観を備え、くわえて他者の意見に耳を傾けることができる人。
- ② 本専攻の教育課程に基づいて学習を重ね、修了に至るために必要な一定以上の基礎的学力を備えており、根気よく学習を継続できる人。
- ③ 論理的に考えを整理し、自分の考えを適格に表現できる人。

2. 募集人員

募集人員 8名（第1回募集 6名、第2回募集 若干名）

（医学研究科医科学専攻は、生体機能科学分野、生体医工学分野及び理学療法分野の3分野で構成されており、各分野の募集人員はそれぞれ若干名とします。）

3. 選抜の区分

入学者選抜には、一般選抜と社会人選抜があります。

一般選抜と社会人選抜とは、試験科目が異なりますので、留意してください。

4. 出願資格

(1) 一般選抜

次のいずれかに該当する者としてします。

- ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みのある者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 学校教育法第102条第1項に規定する学士の学位を有する者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に在学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

なお、⑩の入学資格審査の条件は、医療技術の分野で実務経験が5年以上である者

(2) 社会人選抜

社会人選抜において入学を志願する場合は、一般選抜出願資格のいずれかに該当する者で、医療職の免許を有し、入学時点で当該免許にかかわる5年以上の実務経験を有しており、かつ本専攻の趣旨に合致した研究課題を持つとともに、学会発表又は論文作成の実績があるのが望ましく、また意欲的に学ぶ姿勢がある者としてします。

5. 出願資格審査について

上記(1)の⑨または⑩で出願しようとする者は、事前に出願資格審査を受けなければなりません。

出願資格審査を希望する者は、あらかじめ、埼玉医科大学保健医療学部大学院担当へ「出願資格審査申請書」を請求し、審査手続をとってください。

出願資格審査は書類審査により行います。出願資格審査を受けて資格が認められた後、一般あるいは社会人の選抜方法を決定して出願してください。

(1) 受付期間

第1回募集 令和4年 6月16日(木)～令和4年 7月6日(水) 16時まで

第2回募集 令和4年 10月24日(月)～令和4年 11月4日(金) 16時まで

(2) 提出場所

埼玉医科大学 保健医療学部事務室 大学院担当

(3) 提出書類

次の書類を揃えて申請してください。

① 出願資格審査申請書

※本学所定の様式がありますので、お問い合わせください。

※外国人の申請様式は別となりますので、ご注意ください。

② 最終学歴に関する証明書

1) 卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書

2) 成績証明書

③ 医療関係の免許証の写し

④ 外国籍の者は、市区町村発行の外国人登録済証明書を添付してください。

(4) 審査結果

本人宛に通知します。

(5) 事前面接

出願資格審査申請書を提出する前に、志望する指導教員と予め研究内容等について相談をしてください。(日程調整が必要となりますので、早めに予約をしてください。)

分野の代表者の連絡先は次のとおりです。

分野	代表者	メールアドレス
生体機能科学分野	藤原 智徳	tfuj@saitama-med.ac.jp
生体医工学分野	小林 直樹	naoki_kb@saitama-med.ac.jp
理学療法学分野	赤坂 清和	akasaka@saitama-med.ac.jp

6. 出願手続

(1) 出願受付期間

第1回募集 令和4年 8月 9日(火)～令和4年 8月19日(金) 16時まで

第2回募集 令和4年12月13日(火)～令和4年12月23日(金) 16時まで

(2) 出願場所・出願方法

① 出願場所・郵送先

〒350-1241 埼玉県日高市山根 1397-1

埼玉医科大学 保健医療学部事務室 大学院担当 宛

② 出願方法

郵送にて送付のこと(必着)。

書留速達扱いとし、封筒に「埼玉医科大学大学院入学試験出願書類在中」と朱書きの上、受付期間内必着となります。

(3) 出願書類

次の書類を揃えて出願してください。

① 入学願書・履歴書・志望理由書・受験票(大学用) (募集要項中の様式1～4)

※出願資格審査申請書・入学願書・履歴書・受験票(大学用)には、同一写真を貼付すること。
(縦4cm×横3cm:3ヶ月以内撮影の上半身脱帽正面背景無地 裏面に氏名記入)

※外国籍の者は、市区町村発行の外国人登録済証明書を添付してください。

② 最終学歴に関する証明書

1) 卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書

2) 成績証明書

※本学保健医療学部卒業(見込)者は不要です。

③ 検定料 30,000円

銀行振込とし、出願には検定料振込済証明書(募集要項中の様式5)を入学願書に貼付すること。振込手数料が発生する場合は志願者本人の負担となります。なお、検定料納入後の返還は一切行いません。

④ 返信用封筒

受験票返信用として、普通郵便分の切手を添え、送付先住所を記入した返信用封筒を準備すること。

※出願資格審査申請時に提出済みの書類は不要です。

(4) 事前面接

入学願書を提出する前に、志望する指導教員と予め研究内容等について相談をしてください。

(日程調整が必要となりますので、早めに予約をしてください。)

※出願資格審査申請時に事前面接済みの者は不要です。

分野の代表者の連絡先は次のとおりです。

分野	代表者	メールアドレス
生体機能科学分野	藤原 智徳	tfuj@saitama-med.ac.jp
生体医工学分野	小林 直樹	naoki_kb@saitama-med.ac.jp
理学療法学分野	赤坂 清和	akasaka@saitama-med.ac.jp

7. 入学者選抜

入学者選抜では、筆記試験、面接試験および出願書類により、総合的に判定します。

(1) 一般選抜

○ 筆記試験

共通試験		英語（辞書の持ち込み可、ただし電子辞書は除く。）
専門科目試験	生体機能科学分野	基礎医学系4科目（生化学、生理学、解剖学、病理学）、臨床検査系4科目（臨床生理学、臨床化学、臨床病理学、臨床免疫学）、ゲノム医学系2科目（ゲノム科学（遺伝学）、発生学）の計10科目の中から3科目を選択
	生体医工学分野	数学2科目（線形代数、微分積分）、臨床医学2科目（医学概論、臨床医学総論）、工学基礎3科目（電気電子工学、情報工学、機械工学）、臨床工学3科目（医用材料、人工臓器、医用安全管理学）の計10科目の中から3科目を選択
	理学療法学分野	専門基礎分野4科目（筋骨格機能形態学、中枢神経機能形態学、心肺機能形態学、運動学）、専門分野4科目（筋骨格理学療法、神経理学療法、心肺理学療法、予防理学療法）の計8科目の中から3科目を選択

○ 面接試験

(2) 社会人選抜

○ 筆記試験

英語	英語（辞書の持ち込み可、ただし電子辞書は除く。）
小論文	各分野の専門領域に関連する小論文

○ 面接試験

(3) 試験日時

第1回募集 令和4年8月27日（土） 9時30分～15時

第2回募集 令和5年1月7日（土） 9時30分～15時

(4) 試験時間割

試験科目	専門科目試験・小論文	英語	面接
試験時間	9:30～11:00	11:20～12:20	13:30～

(5) 試験会場

埼玉医科大学 日高キャンパス 保健医療学部棟

8. 受験にあたっての注意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合、受理しないことがあります。
- ② 出願書類受付後の書類の変更は認めません。また一旦受理した出願書類は返還できません。
- ③ 受験票は必ず持参してください。
- ④ 試験開始の30分前（午前9時）までには、試験会場に到着してください。
- ⑤ 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学決定後であっても入学を取り消す場合があります。

9. 合格発表

第1回募集 令和4年9月16日（金） 16時

第2回募集 令和5年1月27日（金） 16時

本学日高キャンパスの保健医療学部事務室前に掲示するとともに、本人宛に通知します。

なお、本学大学院ホームページでも閲覧できます。URL <http://www.saitama-med.ac.jp>

※掲示発表を正式とします。

10. 入学手続き

第1回募集 令和4年 9月20日(火)～令和4年10月4日(火)

第2回募集 令和5年 1月30日(月)～令和5年 2月9日(木)

合格者には、「合格通知」と「入学手続き書類」を願書に記載された現住所に送付しますので、手続き期間中に入学手続きを完了してください。

期日までに所定の手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものとして扱います。

11. 学納金

令和5年度入学者の学費は以下のとおりです。

区 分	金 額
入学金	300,000 円
授業料 (年額)	700,000 円
施設設備費 (年額)	200,000 円
障害保険及び賠償責任保険 (通常履修の2年分)	2,790 円
合 計	1,202,790 円

※入学金は、本学関連学校の卒業生（卒業見込み含む）からは徴収いたしません。

(詳細はお問い合わせください)

注1. 授業料については、前期と後期に分けて分納ができます。

分納を希望する者は、入学手続きの際、「学納（授業料等）分割願」を提出する必要があります。

ただし、長期履修生の授業料分納はできません。

2. 長期履修生の学費は、入学金以外の学費について標準修業年限2年分を、認められた履修期間の年数で除した額（1万円未満は1万円に切り上げ）とします。

例えば、履修期間が3年の場合は、次のとおりとなります。

入学金	300,000 円
授業料 (年額)	470,000 円
施設設備費 (年額)	140,000 円
障害保険及び賠償責任保険 (通常履修の3年分)	4,150 円
合 計	914,150 円

3. 入学手続き完了後の入学辞退は、申し出により令和5年3月31日(金)17時までに所定の手続きを終了した場合、入学金以外を返還します。

12. 個人情報の取扱いについて

出願および入学願書等に記載された個人情報は、入学者選抜の実施、合格発表、入学手続き、入学後の履修、学籍関係および学生生活に必要な業務を行なうために使用します。

本学が取得した個人情報は、法律で定められたとおり適切な管理を行います。

大学院・修士課程に関するお問い合わせ先

〒350-1241 埼玉県日高市山根 1397-1

埼玉医科大学 保健医療学部事務室 大学院担当

Tel : 042-984-4801 Fax : 042-984-4804

メールアドレス hmaster@saitama-med.ac.jp